



2019年9月24日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。

ブラジル中央銀行から政策金利が発表されました。政策金利は事前の予想通り0.5%ポイント引き下げられ、5.5%になりました。また、中央銀行は「低インフレが続く見通しが強まっております。さらなる景気刺激策（利下げ）の可能性もある。引き続き、景気とインフレの動向を注視し続ける。」と追加利下げについても言及しました。市場の予想以上にハト派姿勢を示したことで、ブラジル・レアル、金利ともに低下しました。

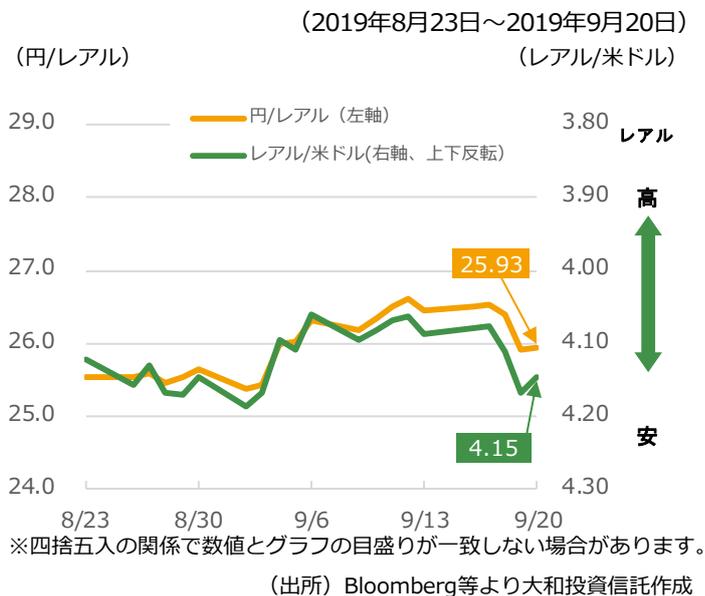
経済指標に関しては、各種インフレ率がそれぞれ発表されました。発表されたインフレ指標の多くが市場予想を下回り、中央銀行の政策を裏付ける内容となりました。

今週の見通し

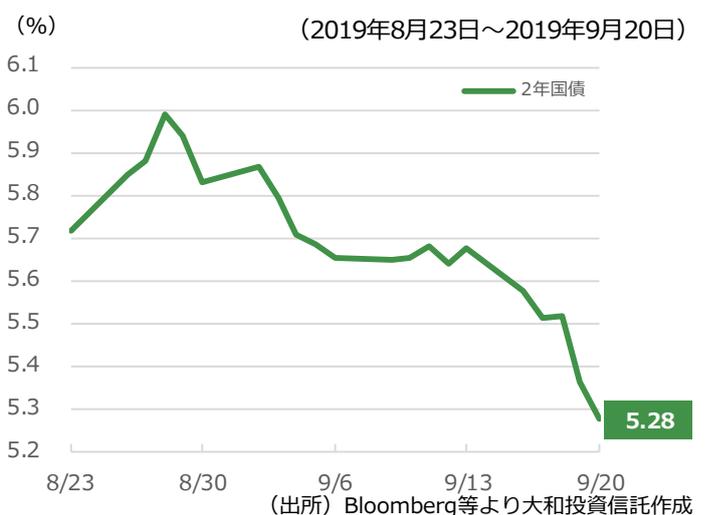
今週はIPCA-15インフレ率や経常収支などの経済指標の発表が予定されています。

中央銀行の金融緩和姿勢への転換から、足元ではブラジル・レアル安が継続しています。大幅なブラジル・レアル安となった際にはブラジル国内のインフレ率上昇につながり、中央銀行の政策も変更を余儀なくされるため、ブラジル国外のリスク要因、ブラジル・レアルの動向には注意が必要です。

ブラジル・レアル 為替推移



ブラジル 金利推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。